KaiseiLibrary diary

2023. 11. 20

文責＊学校司書＊實重美紀

先生方も！

研修会で「あらまし読み」をやってみました！

10 月 19日に行った公開教育研究会では、講演会に元愛知教育大学教授の牧恵子先生をお迎えして、実際に「あらまし読み」を行うワークショップを開きました！

1 冊の本を最初から最後まで読み通す「通読」と、「あらまし読み」は、こんなところが違います。

★読む前に、表紙・帯・目次・著者紹介などから情報を読み取る。

★読みながらワークシートを書き進めたり、ペアになって対話をしたりして、インプットとアウトプットを繰り返しながら読む。

読み始める前に、その本の情報（あらまし）をつかんでおくこと、そして、アウトプットしながら読むことが、本の内容の理解を助けるコツです。

HP「あらまし読み」―〈探究〉の入口となる新・読書術 ―
https://www.aramashi.online/

読みたい章を1つだけ選んで読んでいきます

「少し読んだら書く」のがコツだそうです！

書名や選んだ理由を書いたら交流タイム、序章を読んで要約したら交流タイム、選んだ章を読んでキーワードをマッピングしたら交流タイム…。

★「少し読む」「書く」「対話する」というショートステップの繰り返し。

「はい、交流タイムです！」「交代です！」というゲーム感覚の楽しさもあり、研修会場とは思えないほど盛り上がっていました！

島根大学・島根県立大学から学生のみなさんも参加してくれました

開星の元生徒会長・永澤瑠奈さんは、研究協議でも指導講師に熱心に質問している姿が印象的でした！

開星の先生方が、みんなで本を読み、その本について楽しそうに話している･･･見ているだけでも嬉しくなる、ステキな研修会でした。ぜひ、生徒のみなさんとも「あらまし読み」をもっとやっていきたいです！(*^-^*)